

事務事業評価表(既存事業)

コード 4-1-6	事務事業名 市民会館施設改修工事	所管部課 市民生活部生活文化課
--------------	---------------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 改修工事を行い、市民会館利用者の安全・安心・快適な環境を整備する。	総合計画上の位置づけ (政策)創造性の育つまちづくり (施策)芸術・文化活動の振興(創3-4) (主要施策)文化施設の計画的な整備
	実施内容、実施方法 (1)防水排水等工事・・・館内の雨漏れが現れている箇所を改修する。 (2)冷温水ポンプ取替工事・・・老朽化の著しい冷温水ポンプを交換し空調機械を整備する。(3)空調機加湿装置取替工事・・・老朽化の著しい公会堂用空調機加湿装置を交換し空調機械を整備する。	根拠法令等
	事業開始時期 平成 16 年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()

評価指標の設定	活動指標名 工事件数	活動指標の考え方(定義) 施設の工事を行った件数
	成果指標名 進捗率	成果指標の考え方(定義) 工事目標に対して進捗した割合

		単位	14年度	15年度	16年度	17年度	
事務事業データ	事業費(A)		0	0	4,925	0	
	国庫支出金	千円					
	都支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源					4,925	
	所要人員(B)	人			1.00		
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	0	0	8,328	0	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	0	0	13,253	0	
	単位当たりコスト (E)=(D)/(工事件数)	千円	0	0	4,418	0	
	歳入	千円					
	活動指標	目標値	件			3	
		実績値	件			3	
活動指標	目標値						
	実績値						
成果指標	目標値	%			100		
	実績値	%			100		
成果指標	目標値						
	実績値						

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	
	国・都・他市・民間等 における類似事業	
	運営上の制約条件・ 外部要因等	

コード 4-1-6	事務事業名 市民会館施設改修工事	所管部課 市民生活部生活文化課
--------------	---------------------	--------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input checked="" type="checkbox"/> 極めて良好 <input type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	工事後、工事箇所及び周辺への雨漏りが解消した。また、空調機器取替後、順調に運転を継続し利用者の不便を解消した。
	必要性 <input type="checkbox"/> 増大 <input type="checkbox"/> 変化なし <input checked="" type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	雨漏れなど根本的な箇所は不明であり、今回該当箇所の工事を行ったことにより一応の成果を得たが、内部構造の詳細が不明であるため、別の箇所からの雨漏りが発生する可能性もある。冷温水ポンプ取替え及び空調機については新しい物品との取替えであり必要性については減少したと思われる。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	今回の改修はとりあえず雨漏りが現れている箇所の改修であり、建設が昭和44年という老朽化が進んでいる施設であることからして、今後さらに工事が必要となる箇所が出現する可能性がある。根本的な解決策が必要。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	有料施設でもあり、利用者に快適な環境を提供できた。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止	単年度の施設改修につき、当初の目的は達成されたと考える。

17年度における改善点	市民会館は、昭和44年開館の施設であり、雨漏りにかかわらず建物、設備の老朽化に応じた改修が必要である。
-------------	---

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など

必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など

効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など

公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など

総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。

拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。

継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。

改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。

抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。

廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。